



庶民の会  
ほんだ まつひろ  
本多 松弘 議員

## 持続可能なまちづくり

**Q** 平成の大合併から16年。合併特例債も令和7年に期限を迎えます。合併の検証と島原半島の枠組みを含め、未来の形を話し合う協議会が必要だと考えますか？

**A** 合併特例債を活用したハード面の整備に加え、行政サービスの水準が向上した。しかし、人口減少による財政不足も感じており、効果に対する検証をすべきだと思う。また、合併を協議する場合は現在ない。協議会設置に時間がかかり、現段階では広域的な観光振興や二次交通など3市が連携できるところは積極的に取り組みたい。

**Q** 今後の財政を考えると複数の自治体で施設のシェアリングが必要だと考えますか？

**A** 将来的には施設の共有を考えなければ自治体運営は厳しくなるので、指摘の考え方は大切だと思う。

## 郷土を担う人づくり

**Q** Uターンを促進するためには、郷土愛を育む教育環境の充実と地域・家庭との連携が必要だと考えますか？

**A** 学校では、様々な学習場面で郷土愛を育む教育が行われている。本市では子供たちの地域行事への参加が高く、地域で子供たちを育てようという思いの表れだと思う。今後地域・家庭から協力をいただきながら郷土愛を育んでいきたい。

## 4万人のゴミ減量プロジェクト

**Q** 削減できた経費の使い道を明確にし、楽しみながらごみ削減ができる仕組みづくりが有効だと考えますか？

**A** 削減経費の見える化は有効なので、算出方法等を検討したい。目的達成の折には取組を評価し、何らかの形で還元できる仕組みづくりを考えたい。

## 【その他の質問項目】

◇当初予算の新規事業部分の早期説明

◇行政サービスのスマート化とコスト削減

◇マイナンバーカードの普及

◇島原城築城400周年

## 委員会活動報告

本会議で付託された議案等について、**総務委員会・産業建設委員会・教育厚生委員会・予算審査特別委員会**を開き、審査等を行いました。その概要をお知らせします。なお、各議案の内容（ピックアップ）については、一部掲載です。

### 総務委員会

審査件数2件

●第35号 島原市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例【可決】

#### pick up

行政手続のデジタル化を推進し市民等の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るため、この条例を制定する

Q 10月から始まるとのことだが、まずどの部分からシステムを活用することになるのか。

A 10月1日から水道関係の手続きやしまばらん関係の申請を含めて、約10種類の手続きや予約についてオンライン申請ができるように整備を進

めている。それ以降についても、環境を整えば、一つでも多く増やしていけるように取り組んでいきたい。

Q オンラインによる行政手続きができないものは何か。

A 例えば、申請等に虚偽がないことを対面で確認する必要があるものとして、選挙公報の掲載文の申請等、また、許可証等を事務所に備え付ける必要があるものとして、営業許可証等、他の条例等によりオンラインによる方法が可能であるものとして、市税の申告等が今回のオンライン申請には含まれていない。

●第36号 島原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例【可決】

#### pick up

育児休業の取得回数制限を原則1回から原則2回へ緩和する

Q 産後パパ育児制度が10月から始まると聞いているが、その制度との兼ね合いはどうなるのか。

A 現行のパパ休暇については、これまで原則1回しか取得できなかったが、今回の条例改正により、産後パパ育児については、常勤職員、非常勤職員ともに2回に分割して取得できるようになる。

# 産業建設委員会

審査件数5件

●第37号 島原市建築関係手数料条例の一部を改正する条例【可決】

**pick up**  
長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に伴い、建築行為を伴わない既存住宅を認定対象とする

●第38号 市道路線の認定について【可決】

**pick up**  
・認定する路線  
島原自転車道線  
・路線区間  
起点 秩父が浦町  
終点 南安徳町  
(旧秩父が浦駅から水無川左岸堤塘線まで約2.1km)

Q 自転車道路を新設することだが、どれくらいの期間をかけて整備をするのか。  
A 令和4年度から令和8年度までを計画している。

Q 道幅について、安全に歩行をしてもらうための工夫が必要だと思いが。

A 幅員については4メートル以上で、自転車2台と歩行者が通行できる余裕幅をもった自転車歩行者専用道路を計画している。

Q 秩父が浦駅から島原港駅までの検討はされるのか。  
A 島鉄と協議中である。

Q 民地との境界はどのようになっていくのか。  
A 路線の測量を行い、境界の確認も行う予定である。また、構造物等で官民が分かるような施工を行いたいと考えている。

Q 国の法律に基づいたルールに則り、また県や市もそれに対する条例等をつくらないと前に進めないと思うが、何か動きはあるのか。  
A 長崎県サイクルツーリズム推進協議会が立ち上げられており、その中で、島原半島地域部会がある。現在、島原半島一周サイクルルート構想も決定しており、島原市の整備について地域部会の中で協議を進めている。

Q 路線区間の約2.1キロメートルは島鉄の所有なのか。  
A 島鉄の財産である。

Q 島鉄の財産である。



認定する路線の一部

●第44号 令和4年度島原市水道事業会計補正予算(第1号)【可決】

**pick up**  
新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業として実施する予定の水道料金助成事業に伴い、水道料金の基本料金3カ月分免除による営業収益5132万9千円の減少と、システム改修ほか事務的経費による営業費用367万1千円の増加分、あわせて5500万円を、一般会計からの繰越金として、営業外収益5500万円の増で賄うもので水道事業収益及び水道事業費用同額の367万1千円を増額する

●第47号 令和3年度島原市温泉給湯事業特別会計歳入歳出決算【認定】

**pick up**  
歳入決算額  
1億6599万7273円  
歳出決算額  
1億3348万1104円  
繰越決算額  
3251万6169円

●第49号 令和3年度島原市水道事業会計剰余金の処分及び決算【可決及び認定】

**pick up**

収益的収入	9億448万3366円	差引	2億1007万7947円
収益的支出	6億9440万5419円	資本的収入	6億9549万2661円
差引	2億503万7947円	資本的支出	13億6187万89円
資本的収入	6億9549万2661円	差引	△6億6637万7428円
資本的支出	13億6187万89円		

## 教育厚生委員会

審査件数6件

- 第39号 北村西望賞基金条例の一部を改正する条例【可決】

### pick up

基金の積立について文言を整理し、新たに基金の処分を加える

Q 基金残高について。

A 昨年度末現在で、2011万5754円である。

Q 基金の処分について規定されているが、今後、緊急的な支出を予定されているのか。

A 北村西望賞の支出に関しては、主に記念品代や審査員の報償費であり、今後、大きく変動することはないと考えている。基金を運用するに当たっては、基金の目的に沿った運用をしていくことになる。

R この条例改正のように、条例等の見直しは、時代に応じて、早めに行ってもらいたい。

- 第40号 島原市スポーツ振興基金条例の一部を改正する条例【可決】

### pick up

基金の積立について文言を整理し、新たに基金の処分を加える

Q 基金残高について。

A 昨年度末現在で、9686万9779円である。

R 九州大会等へ出場される選手等の交通費や宿泊費用の補助額は他市と比べ少ないのではないか。今回、基金の処分について規定されているようだが、スポーツ振興基金をつくり、頑張っている子供たちを応援していくのであれば、補助額は他市並みにはしてほしい。

Q 第39号議案も一緒だが、第4条で処分について規程するのはなぜか。

A これまでは運用型ということで、利息で事業を行っていくような条例だったが、今回、その運用益も基金に繰り入れ、基金一体として使えるような条例に改正するものである。

- 第41号 財産の取得について【可決】

### pick up

島原市営平成町人口芝グラウンドの人口芝を購入する

Q 数年前にも人工芝を張り替えられたと思うが、メーカー、面積及び金額は、前回と比べてどうか。

A メーカー及び面積は前回と変わらない。金額は今回が5830万円であり前回が4257万円である。今回は資材の価格高騰などの影響を受け、金額が上がっている。

Q 環境基準に適した仕様なのか。マイクロプラスティックの流出に関しては心配なのか。

A 今回の製品は高い耐久性により、ちぎれにくい人工芝ということで、環境省が実証実験をし、発表がされているものである。また、集水樹に専用のフィルターを15箇所設置することで流出を防ぐよう計画している。

Q 前回の更新時には、「専門性の高い工事を行う場合、市内の業者が施工実績を積めるような配慮をしてほしい」との要望がなされていた。今回、事業を実施するにあたり、前回の施工に関する要望については検討されたのか。

A 検討はさせていただいたが、どうしても金額的な部分等を考慮し、今回も前回と同じ形をとっている。

- 第46号 令和3年度島原市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算【認定】

### pick up

歳入決算額	67億	192万1118円
歳出決算額	66億	328万5050円
繰越決算額	9863万6068円	

Q 国民健康保険事業の加入者数について。

A 被保険者数は、昨年度末現在で1万2192名である。

Q 保険給付費について、不用額が昨年度よりも1億3千万円程度増えた理由は何か。

A 昨年度と比べると、被保険者数が459名減っていることが主な要因である。

Q 島原市の人口に対する加入率について。

A 昨年度末現在で28・17%である。

●第48号 令和3年度島原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算【認定】

pick up	
歳入決算額	6億5834万7349円
歳出決算額	6億4561万1749円
繰越決算額	1273万5600円

Q 後期高齢者医療の加入者数について。

A 被保険者数は8129名である。

Q 新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えがあつているのか。

A 1人当たりの医療費では、令和3年度は97万1956円で、平成31年度と比較すると減ってきている状態である。コロナ感染対策のために受診を控えているケースが見受けられる。

Q 収入未済額の推移について。

A 収入未済額は、現年度分が112万4600円、過年度分が210万8700円である。それぞれ人数は、現年度分が25名、過年度分が15名となつている。収納率の推移は、現年度分は昨年度に比べて若干上

がったが、滞納繰越分は昨年度より7・97%下がつているような状態である。

●請願第1号 少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書採択の請願について【不採択】

pick up  
2023年度政府予算編成において、中学校での35人学級を早急に実施すること、また、学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進することなどが実現されるよう、国の関係機関への意見書を提出願いたい

Q 長崎県の学級編成の基準について。

A (紹介議員) 長崎県は、小学校1年生は30名、小学校2年生、6年生及び中学校1年生は35名としており、先行型として長崎方式で行つている。

Q 本市の中学校においては、35人を超えている学級は少ない。少子化の流れの中で、学校の統廃合などの含みが出てくると議論すべきなどころはあるが、現状、本市において35人学級の必要性を感じていない。

紹介議員は、この請願について、「全国的な問題で」という捉え方をされているのか。

A (紹介議員) 基本的には全国的な形で、同じ形を柱として文章をつくつている。御指摘のとおり、本市においては、少数学級の形で動いていることは事実である。

ただ、国においては、小学校では、昨年度から段階的に35人学級が進められていくことになっているので、中学校についても、段階的に35人学級を導入する計画をつくつていただきたいという請願内容になっている。御理解いただきたい。

【反対討論】本市からこの請願の必要性はないと思うので反対である。

【賛成討論】1学年に36人、37人となったとき、親は、安心して子供を育てたいと思えば、35人学級として2つにクラスを分けてほしいというのが普通だと思うし、そういう環境を我々は整えるべきだと思う。現場の声を拾って、そのまま国に上げるということとは、決して無責任でもなく、当たり前前の要求だと思つているので、ぜひ意見書を提出すべきだと思う。賛成である。

予算審査特別委員会

審査件数1件

審査に当たっては、まず常任委員会を単位とする各所管の分科会からの審査報告を行い、その後、総括質疑を行いました。

●第43号 令和4年度島原市一般会計補正予算(第5号)【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ7億4604万3千円を追加し、予算の総額を252億1562万7千円とするもの。



大三東漁港港内の一部

マイナポイント支援事業	142万5千円
公共交通継続支援事業	3280万円
認定こども園施設整備費補助金	458万6千円
水道料金助成事業補助金	5500万円
認定新規就農者に対する経営発展のための農業用機会等の導入に対する助成	1874万1千円
家畜飼料価格高騰対策事業	2040万円
漁協経費負担軽減対策事業	154万8千円
大三東漁港機能保全事業	652万2千円
企業誘致候補地の電磁探査及び放射能探査による地下の構造や水脈等の事前調査	1千万円
プレミアム付商品券発行事業	9154万7千円
島原よかもんeネット市場(第2次)	2310万円
自転車歩行者専用道路整備のための橋梁の調査、道路の測量、設計	9千万円
島原市宮陸上競技場改修・公認事業	2162万3千円
新たな温水プール建設に向けた設計業務等	8950万円
小・中学校学校給食費支援補助金	3600万円

Q 公共交通継続支援事業補助金の内訳について。

A 補助額は、鉄道については1両当たり20万円で15台分の300万円、路線バスが1台当たり10万円で65台分の650万円、貸切バスが1台当たり8万円で35台分の280万円、タクシーが1台当たり5万円で90台分の450万円、代行業者が1台当たり4万円で25台分の100万円、カーフェリーが1隻当たり400万円、3隻分の1200万円、高速船が1隻当たり150万円で2隻分の300万円であり、合計3280万円を計上している。

Q 水道料金助成事業補助金に関して対象世帯はどうか。また、口径によって補助率が変わってくるのか。

A 対象者は市民および官公庁を除く全ての事業者である。基本料金は口径別の料金体系であり、13から20ミリメートルまでが800円、25から30ミリメートルが1500円、40ミリメートルが4000円、50ミリメートル以上が4800円であり、これらの3か月分を減免するものである。また、対象となる契約戸数は、8月現在において、13から20ミリメートルが1万9731戸、25から30ミリメートルが240戸、40ミリメートルが165戸、50ミリメートル以上が66戸である。完納者、滞

納者関係なく、10月分から12月分までの3か月分について、その基本料金を減免する計画である。

Q 企業誘致活動事業について、水源地調査の場所、水質検査をなぜしなければならぬのか。企業や企業の業内容が決まっているのか。その企業が来るとしたら、島原市の雇用がどれくらい可能性があるのか。

A 企業誘致候補地における工業用水の調査に係る事前調査として、電磁探査と放射能探査により地下の構造や水脈等を調査するものである。場所は、杉谷運動広場を選定している。具体的な企業、雇用等については現在のところ、決まっていない。

Q 島原よかもんeネット市場について、第1次に参加した地元生産者や商店の感想はどうだったのか。

A 夏に実施した第1次終了後のアンケートでは、約9割の事業者が次回も是非参加したいという意見であった。

Q 新たな温水プールの事業予定地については、もう決まっているように受け取ったが、設計業務委託料の予算を計上する前に議会にきちんと説明をすべきと思う。駐車場の確保も必要となることなどについては、議論されているのか。

A 事業予定地については、宝酒造の温水を利用することを最優先に考え、また、利用者のアンケートを取ったときに今の場所を希望する結果が多かった。そうした場合に、新しい温水プールは、今の温水プールの倍程度の広さを考えているので現状での建て替えは難しいという中で、霊丘公園内グラウンドに整備することが適切だと判断した。また、駐車場については、霊丘公園内グラウンドの中で、建物の周辺の空いた部分を想定している。

※第42及び50号議案は委員会付託なし

●第42号 令和4年度島原市一般会計補正予算(第4号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ7084万4千円を追加するもの。

pick up 島原市内のペイペイ加盟店のうち、対象店舗においてペイペイを利用して決済をした場合に、最大20%のポイントを還元する

●第50号 令和4年度島原市一般会計補正予算(第6号) 【可決】

予算の総額に歳入歳出それぞれ2億194万1千円を追加するもの。

pick up 新型コロナウイルスワクチンのオミクロン株に対応した新ワクチン接種等を実施する